

和地ひとみレポート No.314

東大和市転入転出者アンケート調査報告書

調査結果をどのように施策に活かしていくか



■初の転入転出者アンケート

…東大和市は平成30年9月1日から10月8日の間、転入転出者アンケートを実施しました。これは東大和市への転入者及び東大和市からの転出者の移動理由、居住地選択理由、その前後の生活環境変化について調査・分析を行い、その動向を把握し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎資料とすることを目的としているとのことです。アンケートについては下記のとおり対象者を無作為抽出し実施されました。

【調査対象者と回収率の概要】

◆調査対象は平成29年度中に関東圏から東大和市へ転入、東大和市から関東圏に転出した20歳以上49歳以下の方から、それぞれ1,000人ずつ無作為抽出し、郵送にて実施。

◆回収状況

- ① 転入者：276件（有効回収率27.6%）
- ② 転出者：239件（有効回収率23.9%）

…東大和市は「市民意識調査」や「子ども・子育てニーズ調査」など、施策を考えるうえで現状や市民ニーズを把握するために、これまでも様々なアンケートを実施していますが、このように転入者、転出者を対象としたアンケートを実施するのは初めてのことです。

…国全体で人口減少が進む中、東大和市でも将来的に人口の減少が予測されています。そのような中、将来に渡って持続して行くために、魅力あるまちづくりがより一層必要となっていると東大和市は考えており、市の人口の現状と将来の展望を明らかにした「東大和市人口ビジョン」とともに、「東大和いまち・ひと・しごと創生総合戦略」を2016年に策定。この総合戦略の最終年度は今年度となっていますが、引き続きこの取組みを進めることを市は決定し期間を延長することとなっています。さらに、現在の東大和市総合計画の期間も平成33年度で満了となることを受けて、今年度から次期の総合計画の策定に取り掛かるということもあり、今回のアンケートはこれらの計画に反映させることを予定しているとのことです。

…このアンケートの調査報告書は243ページというボリュームのものとなっており、現在は市のホームページでも閲覧することができます。

■転入・転出の理由などの傾向は

…このアンケートの報告書を見ると、転入転出者のアンケートでは、回答者自身の性別、年代、家族構成といった基本データから、転入、転出ともに引越しをする前と後の同居者、住居の形態（一戸建、マンション、賃貸など）、引越しのきっかけや引っ越し先の決定に一番影響を及ぼした人、引っ越し後の場所の決定理由などについての質問が続いています。

…そのほかにも東大和市の暮らしや東大和市のまちの雰囲気、生活上の利便性、行政サービスについての質問など項目は多岐に及び、最後には自由回答欄が設けられていました。

…各項目の回答結果については、細かく報告書で確認できますが、報告書の最後には今回のアンケート結果についての考察が下記のとおり明記されています。

【調査結果の考察】

1. 東大和市に転入する人は住宅事情を理由とする傾向にある

「東大和市へ転入した理由」をみると、全体では「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」の比率が最も高くなっている。転入前と転入後の持家（一戸建）の結果を比較すると、転入前では2割弱であったのが、転入後では3割強となっている。また、転入前と転入後の住宅の床面積の比較をみると、転入前は20～40㎡未満が最も高かったのに対し、転入後は60～80㎡未満が最も高くなっている。また、転入者の世帯構成の変化を見ると、単身から夫婦へ世帯構成が変わるときや、世帯構成は変わらないが子供が成長する過程で東大和市に転入している可能性が伺われる。このことから、世帯構成の変化や子供の成長などに合わせて、住宅を購入したり住み替え等を行うため東大和市に転入している傾向があると言える。

2. 東大和市を選んだ一番の理由は親等親族と同居、近居が最も高い

東大和市を選んだ一番の理由としては、親等親族と同居、近居が最も高い回答となった。年代別にみると、30歳代と40歳以上で3割弱と高い回答となっている。30歳代では子育て環境を良くしたいという回答があり、親等親族を頼って東大和市に転入している傾向があるのではないかと考えられる。

3. 自然環境や日常生活の利便性が好印象

東大和市に対する印象について、転入者・転出者に共通した項目の上位を挙げてみると、良い印象では、公園や自然環境の良さ、買い物等の日常生活の利便性の比率が高く、悪い印象では、都心へのアクセス、通勤・通学の利便性の回答が高かった。このことから東大和市への印象は、自然に恵まれた環境の中で、日常生活を便利に豊かに過ごすことができるが、通勤・通学先が遠い人にとっては不便を感じていることが伺われる。

（裏面に続く）

4. 転出先を選んだ理由は通勤通学の利便性がトップ

転出者に現在お住まいの転出先を選んだ理由について聞いたところ、第1位の理由として、通勤・通学の利便性が4割台半ばと他の理由と比較して突出して高い比率となった。地域別に見ると、通勤・通学の利便性と回答した地域は、最寄りの鉄道駅から遠い地域と一致しており、このことから問題解決にはインフラの整備に引き続き取り組む必要があるとされている。

5. 自治体の行政サービスを活用してもらおうのが課題

転入・転出先を決めるに当たり、自治体の行政サービスや施策を調べたかどうかをみると、転入・転出者のどちらも調べていないという回答が6割以上となった。このことから、行政サービスや施策がうまく伝わらないまま転入・転出先が決められていると考えられる。ホームページやSNS等を効果的に活用し東大和市の良さをアピールすることが求められていると言える。

■どう深掘りして、どう活かすか

…このレポートでは、今回のアンケートの報告書の内容を全てお伝えすることはできませんが、上記の“考察”ならびに右記の“自由回答の概要”から私が抜粋したご意見を見て、皆さんはどのような感想を持たれたでしょうか。今回のアンケート回答者数は、転入転出者の合計でも515名なので、この回答が市民の大半の意見とは言えない部分もあると思いますが、良い点も課題点も日ごろ感じていることと、今回の回答にはあまり乖離がない、すなわち、何となく感じていたことに裏付けがされたという印象だと私は思いました。

…最初に述べたように、市では今後の計画や施策にこれらの結果を活用するとのことですが、まずは、この結果を市がどのように受け止めたかを私は知りたいと思います。例えば、課題を「財源があれば市で解決できる」「財源がなくても工夫次第で市で解決できる」「市民の協力を得て取り組めば改善する」「市では解決できない」等にカテゴライズするだけでも、市の受け止め方が見えてきます。この報告書はアンケートの実施を市が依頼した民間事業者が作成したもの。報告書の公表だけでなく、市が結果をどう受け止めたのかを公表することで、市の考えや今後の方向性等を市民も理解できます。

…また、今回のアンケートは特別な分野に限ったものではないので、市の課長以上の役職の方は必ず目を通してほしいと思います。すぐに関係することではないことでも頭の片隅においておけば何かの際に活かされると思います。残念ながら庁内では目を通すことを呼び掛けているのみとのことです。そして、今回出てきた課題の中には、さらなる深掘りが必要なものもあるはず。そのような課題は他のアンケートの際の問いに取り入れるという活用方法もあります。アンケートは実施するだけでは効果はありません。結果の活用方法＝マーケティングの視点がなければ、「やっただけ」となってしまいます。市には実施したアンケートを最大限に活用してほしいと思います。

【自由回答の概要から抜粋】

●満足している・住みやすい(計 73 件)

・東大和市で育ち、大きな公園や高いたてものがないのどかさが良いと、(東大和市を)でてから思った。

●交通(計 64 件)

・立川までバスやモノレールで行けるのは良いが、車がないと不便に感じる部分があった。

●買い物(計 33 件)

・通常の生活をする分には、スーパーや飲食店もあり便利だった。

●自然環境(計 32 件)

・街中や多摩湖など、自然がとても多く、春になると桜がとてもきれいな場所が多い。

●子育て(計 30 件)

・東大和市は特に子育て環境や支援制度を強みにしたら良い。

●住環境(計 28 件)

・静かで住みやすかった。

●行政サービス(計 27 件)

・市役所の職員の方が親切だなあと感じていた。何かひとつ、東大和らしさをアピールできると良いと思う。

●図書館など公共施設(計 19 件)

・図書館の閉館日が多い。

・市役所が駅から遠いので不便だった。近くにサポートを受けられる施設があったら良いと思った。

●医療(計 18 件)

・東大和市は健康診断やがん検診が無料なので利用していた。

●住宅(計 17 件)

・分譲マンション開発ではなく、住宅街、貸家街を整備した魅力発信が良いと思う。

●道路・下水道(計 17 件)

・道幅が狭くて怖かったので広くなると嬉しい。街灯も欲しい。

●住宅・コミュニティ(計 16 件)

・マンションが駅前周辺にでき色々な地区から引越して来た人達なのでコミュニケーションなど薄まった感じがした。

●公園(計 15 件)

・自然を生かした公園が多いと思うが、遊具の充実やイベントなど増やして欲しかった。

●治安(計 14 件)

・夜になると暴走するバイクの音が気になった。

●町の雰囲気(計 13 件)

・駅周辺がさびれてきた。空きテナントが多い。

●ごみ(計 11 件)

・ゴミの仕分けの細かさに関して、都心の方が良いと思った。ゴミの有料袋は高く感じた。

●教育(計 7 件)

・小・中学校の学力のレベルを上げて欲しい。

・東大和の教育も、もっと様々な体験ができて、学校の雰囲気が明るくなると良い。

●福祉(計 7 件)

・子供、高齢者手当の引き上げや特典などがあれば差別化でき良いと思う。

●防災(計 4 件)

・雨の際の冠水が気になるので、整備すればより住みやすい市になると思う。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思っています。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102